

【活力ある農林水産業の振興】

- ▶ **畑地高度利用促進事業**（農政課） 2,121万円
畑地かんがい受益地域で、畑地かんがい水によるさつまいも収穫後の輪作を促進し、農家所得向上を図ります。
新畑かん水利用率向上・輪作体系の確立 2,121万円
- ▶ **畜産産地力向上対策事業**（畜産課） 2億5,519万円
畜産経営体の設備等の整備や繁殖・肥育農家による生産基盤の維持・拡大の取り組みを支援します。
新小規模畜産農家の支援 803万円
継畜産施設整備の支援 2億4,716万円
- ▶ **鳥獣被害防止対策事業**（林務水産課） 6,372万円
- ▶ **漁業経営強化支援事業**（林務水産課） 900万円
- ▶ **新たな食・農ビジネス創出事業**（産業振興課） 3,215万円



基本目標

【予算額】22億4,643万円

やってみたい仕事ができるまち

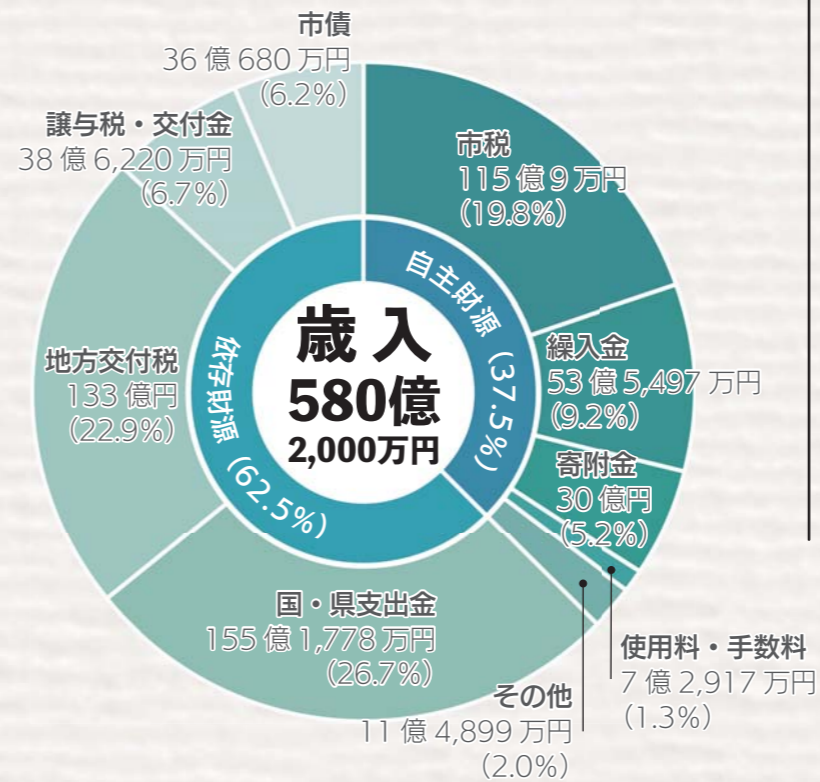
農林水産業の振興や、商工業の活性化、雇用促進への取り組み

【商工業の振興と雇用の促進】

- ▶ **新たな工業団地整備事業**（産業振興課） 1,323万円
戦略的な企業誘致のための新たな工業団地整備の基本計画を策定します。
継新たな工業団地整備の基本計画策定 1,323万円
- ▶ **多様な働き方応援事業**（商工振興課） 7,803万円
都市圏企業と市内企業の交流促進や異業種交流、テレワークの拠点として市民交流センター内にコワーキングスペース（共有環境）を整備します。
新地方創生テレワークの推進 7,803万円
- ▶ **地元就職支援事業**（商工振興課） 1,444万円



一般会計歳入



一般会計予算

歳入の主なものとして、自主財源のうち市税は8.3%増の115億9万円を計上。繰入金については、ふるさと鹿屋応援基金の増などにより53億5,497万円となりました。令和5年度の自主財源比率は37.5%であり、前年度と比較して1.6ポイント増加しています。

歳出は扶助費、人件費、公債費の合計である義務的経費が1.9%増の286億8,521万円となりました。一般会計当初予算の合計は580億2,000万円で、前年度比9.1%増となっています。

●特別会計

特別会計区分	予算額	前年度比
国民健康保険事業	112億1,097万円	▲0.8%
後期高齢者医療	15億2,390万円	1.9%
介護保険事業	119億8,385万円	0.6%

●公営企業会計

区分	水道事業	前年度比	下水道事業	前年度比
収益的収入	17億8,704万円	▲1.7%	9億2,496万円	1.2%
収益的支出	17億6,929万円	10.2%	8億8,206万円	2.4%
資本的収入	6,745万円	105.0%	4億2,603万円	31.0%
資本的支出	11億4,911万円	16.1%	7億6,757万円	13.0%

予算

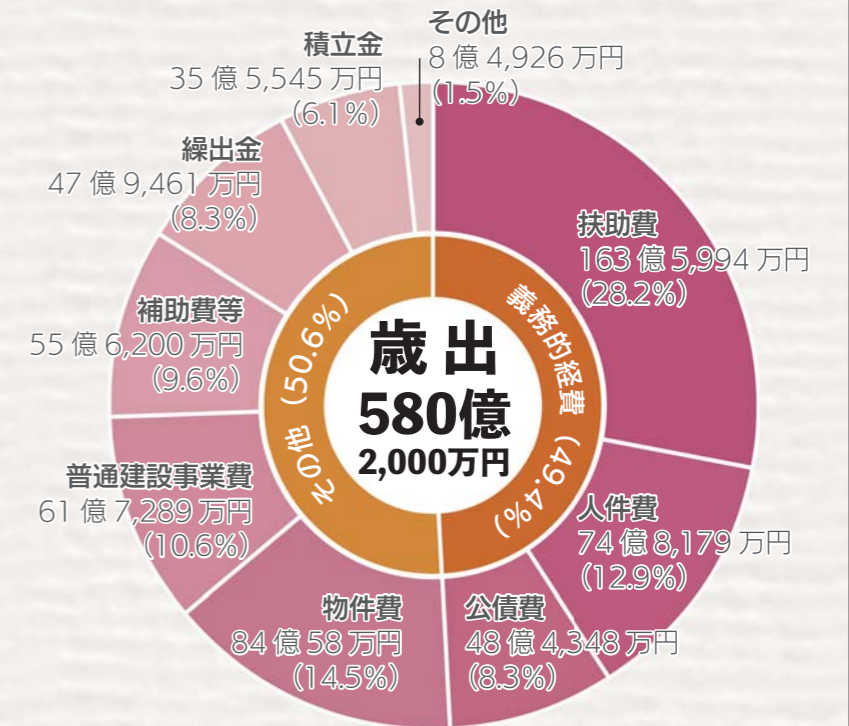
令和5年度

一般会計
特別会計・公営企業会計

令和5年度鹿屋市当初予算が令和5年3月鹿屋市議会定例会で議決されました。総合計画の5つの基本目標に沿った施策を推進する予算の概要について紹介します。

市財政課 ☎0994-31-1126

一般会計歳出



【地域資源を生かした観光の推進】

- ▶ **かのやばら園リニューアル事業**（都市政策課） 1,942万円
今春のリニューアルオープン为契机に、より多くの来園者が訪れる魅力あるばら園の整備を行います。
継リニューアルオープンに伴う施設整備 1,942万円
- ▶ **かのや観光PR事業**（ふるさとPR課） 2,568万円



基本目標

【予算額】29億6,196万円

いつでも訪れやすいまち

地域資源を生かした観光振興、スポーツによる交流促進、移住・定住の推進

【移住・定住の推進】

- ▶ **移住・定住促進事業**（地域活力推進課） 2,247万円
移住・定住を促進するため、都市圏からの移住者や本市へ移住してテレワークを行う人を支援します。
また、都市住民を対象とした「かのやローカルチャレンジスクール」を開催し、地域に根付いた関係人口の増加と移住・定住のきっかけづくりに取り組みます。
・移住者への支援（新テレワーク移住支援金） 1,481万円
継かのやローカルチャレンジスクールの開催 400万円



【スポーツによる交流の促進】

- ▶ **かごしま国体・かごしま大会開催事業**（市民スポーツ課） 4億6,597万円
本市で開催される競技の円滑な大会運営を行うとともに、花いっぱい運動を推進し、市民一体となって大会を盛り上げます。
継かごしま国体・かごしま大会の開催に向けた取り組み 4億6,597万円
- ▶ **スポーツ施設整備事業**（市民スポーツ課） 4億6,883万円



新：新たな取り組みによる事業 継：前年度からの継続事業
括弧：既存事業の内容や対象を広げ、更に一部新規の取り組みを取り入れた事業